

都内の在住外国人の現状と特徴

1 外国人人口が増加

在住外国人数は全国で最大（全国の21%）

（H25.1.1）39.1万人【3.0%】

↓ 5年前に比べ約13万人増加

（H30.1.1）52.2万人【3.8%】

※【 】は都内総人口に占める割合

2 国籍が多彩で、新たな居住者も増加

- ・ 186の国・地域（平成30年1月時点）
中国が1位、次に韓国、ベトナム（※）と続く

①中国38%、②韓国17%、③ベトナム6%、
④フィリピン6%、⑤ネパール5%

※ベトナムがフィリピンを追い抜いて4位→3位

- ・ ベトナム、ネパールなどのニューカマーが増加

ベトナム

（H25）4,669人 ⇒ （H30）32,334人【6.9倍】

ネパール

（H25）8,669人 ⇒ （H30）26,157人【3.0倍】

3 小売業・飲食サービス業等への従事者が多い

都内外国人労働者は、39.5万人（平成29年10月）

うち、42%が、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業に従事

4 専門的・技術的分野と留学生が増加

専門的・技術的分野（H24）7.3万人 ⇒ （H29）10.6万人【46%増】

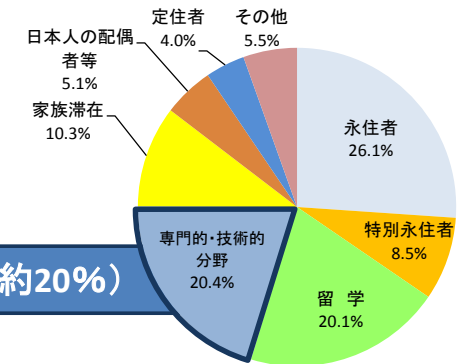
留学生（H24）5.9万人 ⇒ （H29）10.5万人【78%増】

- ・ 半数以上は、中国を中心とするアジア系
- ・ 留学生のうち、日本語学校就学生の割合が増加

留学生に占める日本語学校就学生の割合

（H24）約23% ⇒ （H29）約41%

【在留資格別割合（東京都）
平成29年6月末】



専門的・技術的分野（約20%）

専門的・技術的分野 106,249人

- 「研究」：企業内の研究職
- 「技術」「人文知識・国際業務」：機械工学等の技術者、SE等のエンジニア、企画、営業、経理等の事務職、企業内通訳 等
- その他「教授」、「芸術」、「宗教」、「報道」、「経営・管理」、「法律・会計業務」、「高度専門職1号・2号」、「医療」、「教育」、「企業内転勤」、「興行」、「介護」、「技能」

●高度専門職（2,769人）

最先端技術の外国人研究者やシステムエンジニア、会社の経営者 等
※一定の就労資格に該当する外国人のうち、本人の希望に応じ、「学歴」や「職歴」、「年収」などの項目ごとにポイントを設け、その合計が一定点数に達した場合に、出入国管理上の優遇措置（在留期間無制限など）が与えられる。